

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

①濱口桂一郎著『団結と参加』労働政策研究・研修機構

(2021年3月刊, xi+320p, A5判)

労働・雇用問題の第一人者である著者が、古今東西の労使関係法政策の概要とその歴史を紹介する。現在、集团的労使関係システムをめぐる主たる争点は、労働者の組織化による「団結」型モデルと、経営管理に「参加」するモデルにあるとし、これらが対立する面もあるものの、大陸欧州諸国では両者を組み合わせ、法政策が進められていると解説。団結と参加を明確に区別する「ドイツ式」、企業レベルにも労働組合活動権が確立された「フランス式」、労組が全国・産業レベルで団結型集団として集团的取引を行う一方、企業レベルでは参加型集団として意思決定する「スウェーデン式」の3タイプがあると分析する。

一方、日本では現在、個別労働関係に係る研究が圧倒的だと説く。「団結」も「参加」も担う大企業正社員分野と、「団結」も「参加」も存在しない非正規・中小零細企業分野が二重構造をなしている、と指摘。いまなお集团的労使関係法制の存在が大きい世界各国との相違をクローズアップし、新しい視点を示唆している。

②朝日新聞特別取材班著『老後レス社会』祥伝社

(2021年2月刊, 261p, 新書判)

今後日本は社会保障費が膨らむ半面、労働力不足が深刻化。一方で「一億総活躍」が掲げられ、高齢者の就労が促進されている。70歳を過ぎてもハローワークに並ぶ人もおり、「悠々自適の老後」は消失。本書は、経済的格差は広がり、コロナ禍による景気低迷も生活に追い打ちをかけ、生涯働き続けなければ生きていけない「老後レス社会」が眼前に迫っていると警告。このまま高齢者が増加し、現役世代が一段と減り続ければ、日本人の人生の終盤は大きく変わってしまうとの公算に触れ、「老後への不安」は、すでに多くの人々が同様に感じている日本社会の通奏低音になっていると指摘する。

医療技術の進歩は目覚ましく、とりわけ世界有数の長寿国である日本では、今後も平均寿命が延びると予想される。人生100年時代の到来を「長寿の夢の実現」と見るのか、それとも「長生きリスクの増大」と考えるのか。それは、これからのわれわれの選択と行動にかかっていると、そのどちらもあり得る未来だと説く。

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2021年3月-2021年4月労働図書館受け入れ)

③近藤浩一著『スウェーデン福祉大国の深層』

水曜社 (233+xiv頁, 四六判)

④羽場久美子著『移民・難民・マイノリティ』

彩流社 (414頁, 四六判)

⑤渡辺幸啓著『伸びるためのヒント42』

本の泉社 (213頁, 四六判)

⑥中島美鈴ほか著『働く人のための時間管理ワークブック』

星和書店 (5+115頁, B5判)

⑦伊賀泰代著『採用基準』

ダイヤモンド社 (243頁, 四六判)

⑧長田英知著『ポスト・コロナ時代どこに住み、どう働くか』

ディスカヴァー・トゥエンティワン (276頁, 四六判)

⑨中村圭介著『地域から変える』

旬報社 (195頁, 四六判)

⑩津止正敏著『男が介護する』

中央公論新社 (vii+227頁, 新書判)

⑪原野守弘著『ビジネスパーソンのためのクリエイティブ入門』

クロスメディア・パブリッシング (190頁, 新書判)

⑫佐伯夕利子著『教えないスキル』

小学館 (190頁, 新書判)

労働図書館 <https://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書126,779冊、洋書33,015冊、和洋の製本雑誌27,479冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(260種)、洋雑誌(139種)、紀要等(530種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

開館時間: 9:30 ~ 17:00

休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日~1月4日)、その他

電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659

利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証など)をお持ちください

レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています



※現在、新型コロナウイルス流行の影響で臨時閉館している場合があります。開館情報はHPでご確認下さい。